

京都市伏見区～京都市東山区

歩行距離 約8.2km
標準歩行時間 約1時間50分

京都市伏見区から東海道五十三次の終点、京都三条大橋を目指して伏見街道・大和大路をたどります。街道付近には、伏見稲荷大社や花街など京都を代表するたくさんのお見どころがあります。京阪電車が並行して走っており交通の便もよく、ほとんどアップダウンのない歩きやすいルートです。

淀屋橋駅	京阪本線特急 約39分	丹波橋駅
祇園四条駅	京阪本線特急 約8分	丹波橋駅
三條駅	京阪本線特急 約50分	淀屋橋駅

(2024年3月現在の昼間時の列車運行時刻をもとに記載)



藤森神社

菖蒲の節句発祥の神社としても知られ、今日では勝運と馬の神様として競馬関係者や競馬ファンの参拝者でにぎわっています。また、毎年5月5日に公開される京都市登録「民族無形文化財」の藤森祭馬神事は氏子が馬場を疾走し、馬上で一字書き、藤下がり他数種の技を奉納します。その起源は781年とされ1200年の歴史をもつ伝統神事です。

●京阪電車 墨染駅から北東へ徒歩約7分



伏見稲荷大社

日本全国に約3万社あるといわれる「稲荷神社」の総本宮。ご鎮座は和銅4年(711)二月初午の日と伝えられ、五穀豊穰・商売繁昌・家内安全・諸願成就の神として信仰されてきました。鮮やかな朱色が美しい千本鳥居は幻想的で優美な光景をつくりだしています。境内には稲荷大神のお使い(眷属)である狐の像が据えられており、その多くは「玉・鍵・巻物・稲穂」をくわえていて、観察しながら境内を散策するのもおすすめです。

●京阪電車 伏見稲荷駅から東へ徒歩約5分



稲荷駅ランプ小屋

明治12年(1879)に旧東海道線が京都から稲荷駅を経て大津駅(現膳所駅)まで開通。約8mの小さなランプ小屋は、当時使われていた石油ランプや油類を整備・保管をする倉庫として、燃えにくく頑丈なイギリス積みレンガ造りで建てられました。また、国鉄最古の建物として昭和45年(1970)に準鉄道記念物に指定され、現在は昔使用されていた鉄道標識等が収蔵されています。

●JR奈良線 稲荷駅下車すぐ
京阪電車 伏見稲荷駅から南東へ徒歩約5分



提供: JR西日本

大仏殿石垣

天正14年(1586)、豊臣秀吉は天台宗の寺院である方広寺を造営。その旧境内は豊国神社、国立博物館、三十三間堂の敷地を含む広大なものでした。奈良の大仏に匹敵する高さ約19mの木製金漆塗坐像大仏が安置された大仏殿は、高さ約49m、桁行約88m、梁行約54mと壮大で、その周囲には巨大な石垣がめぐらされました。

●京阪電車 七条駅から東へ徒歩約10分



南座

江戸時代初期、出雲の阿国が京市中で「かぶき踊り」を披露し衆目を集める一方、芝居の町として栄えた四条で営業を開始。以来、400年を超えて歌舞伎を上演してきた日本最古の歴史をもつ劇場と言われ、登録有形文化財に指定されています。現在も年間を通して様々な演目上演されていますが、師走に行われる吉例顔見世興行は京都の冬の風物詩となっています。

●京阪電車 祇園四条駅下車すぐ



三条大橋

江戸・日本橋を起点とする東海道五十三次の終着地点。天正18年(1590)に豊臣秀吉が増田長盛に命じて鴨川に架橋しました。その後、何度も改修・架け替えが行われましたが、架橋時の擬宝珠が残されています。西から数えて2つ目の擬宝珠では元治元年(1864)の池田屋騒動の際につけられたという刀傷の跡を見つけることができます。

●京阪電車 三條駅下車すぐ



祇園甲部・宮川町・先斗町・祇園東

京都を代表する花街。祇園甲部は八坂神社の門前で江戸・寛永年間より栄える最大の花街、伝統建築と石畳の格調高い佇まいが特徴です。宮川町は伝統の花街らしいはなりのした風情の街並みで、歌舞伎等の芸能と深く関わりながら発展しました。先斗町は、お茶屋や置屋、飲食店などが数多く立ち並ぶ細長い通りで、東西に五十番まで数える大小の路地があります。祇園東は京都を代表する繁華街に位置し、氏神である赤い鳥居の「観音神社」と伝統的なお茶屋が並んで建つ姿が印象的です。

●京阪電車 祇園四条駅周辺

